

おりあい

会報 2023-9 VOL. 154

発行: NPO 法人じねん舎 じねん舎クラブ

住所: 〒803-0278

北九州市小倉南区徳吉西1丁目8-6

TEL093-383-7866 FAX093-383-7866

HP はこちら

Eメール: jinensha@dream.ocn.ne.jp

<https://www.jinensha.online>



NPO 法人認証されました

2022年12月22日に非営利活動法人（NPO 法人）じねん舎として認証されました。これにより「精神的ハンディ」を抱える人々の人権を擁護する活動をより一層発展させていく契機にしたいと考えています。これまで小規模作業所（じねん舎クラブ）においては、「精神的ハンディ」の有無にかかわらず、趣旨に賛同し集まった人々が、ミーティング等、様々な活動を通じて相互理解を深めて来ました。

今後、家庭、職場、地域の人々に一人でも多く参加して頂き、NPO 法人としての責務を果たしていこうと考えています。



じねん舎クラブで長い年月を重ねて、法人になりやっとたどり着いたという感じです。

これから社会的に、居場所の意義を広めたらなと思います。

私たちの活動に賛同してくれる方は多分たくさんいると思っています。

少し大げさに言えば、現社会の歪に対して少しでも何か出来る事はないものかと思っています。

力不足は承知の上で。(松崎勉)

精神的ハンディを持っていてもそれに負けずに生きている人ばかりです。

健常者、障害者に囚われず、同じ人間同士で分かりあっていけることが理想です。

まだまだ、障害者に対しての偏見があるのも事実です。これから他の多くの個人団体方との交流を通して、じねん舎という団体を知ってもらえたら嬉しい限りです。(M)

僕は、いままで通り、で、行きたいです。

つまり、現状維持ですね。

このままの状態が、続くことを祈っています。(帆足明雄)



NPO 法人になった事によって、じねん舎クラブの活動内容が大きく変わることはないと思いますが、今までの活動以外の新しい事にも、頑張りすぎない程度で挑戦出来たらと思います。少し話は変わりますが、最近、良く思うことがあって、一人で頑張るのではなく、みんなでやらないとやる意味がないと思うことがあります。これからの活動に生かせればと思います。(M.S)

数年前からお世話になりはじめたじねん舎がNPO となりとても喜ばしいと思います。

人は皆様々な荷物を持って生きていると思いますが、人と人が出会い交流する時の荷が少し軽くなるかもしれません。これからもじねん舎の一会員としてやっていきたいと思っています。(石井裕樹)

「何もわからないまま、ここに来るようになり、皆さんが気軽に話しかけてくれるので、来やすいと思いました。」(ぬーびい)

NPO 法人になったからといって、何か急が変わることはないのですが、今までよりも頻繁に、色々な人と出会える場になれば嬉しいです。人がたくさん集まれば、これまでにない思わぬ化学反応が起きるかもしれません。安心して安全だけど、退屈な居場所とはならないように、実験的で活気のある取り組みをしていけたらと思います。(IT関係)



みんなの広場

僕は趣味で熱帯魚を飼っています。その魚のことを書こうと思います。最近、一番気に入っていた、オスカーという魚が死んでしまいました。その魚はブラジルで採れた、現地採集個体でした。色、柄、共に美しい個体でした。大きさも32センチ位あり迫力もありました。死んでしまったのが残念で仕方がなかったです。何が悪かったのか、考えました。最初はエサのやり過ぎがいけなかったと思いました。エサのやり過ぎで内臓に負担をかけたため身体をおかしくしてしまったのだと思い込んでいました。それから、もう一度、オスカーを飼いたいと思い、今度はコロンビア産のオスカーを買いました。魚がだんだん、大きくなるにつれて、前と同じような、環境になっていきました。今度の個体は、前のは違い、フンのために水質が悪化すると、エサも食べなくなり、調子も悪そうになりました。前の個体が水質の悪化に強かったのです。水質の調整、管理など水が大事だと思いました。(M.S)

人それぞれ違いはあれ、その人なりの力はあると思うのです。私やあなたのその力が少しでも集まると何か出来る事があります。そして、その想像の中で集まった力で自分自身が自分の認めてゆく自分を少しでも好きになる。私もそのことが中々出来ず、日々の中で過ごしているのかも？先日訃報を聞いて多少の脱力感に悩まされました。皆さん一人で日々の脱力、なんとなくの虚しさを感じる時は、自分のパワーだけでなく他者のパワーも借りてはと思うのです。一度ピアな中の集合体に入ったら確かに煩わしいことがいっぱいあっても、自分一人で生きて導かれてなく私はなんとなく人様のパワーの中で過ごしていると思う時があります。だから、さよならは好きではありません。作家の太宰治が言っています。花に嵐のたとえのようにさよならだけが人生さ、と。私はそのさよならが好きではありません。詩人の寺山修二が言いました。さよならだけが人生なら、そんな人生は私はいりません。(松崎勉)

社会の中でじねん舎クラブのような場所が必要だと感じます。この近辺でじねん舎クラブのような場所はないとも聞いています。広まってほしいけれど、まず自分に出来る事は、このじねん舎で人と交流し、また人に紹介していく活動していくことだと考えます。(石井裕樹)



私のマイブーム

DVD鑑賞です。あいみょんが好きでコンサートにも行きます。グッズもたくさん持っていて、ユニホーム、タオル、あいみょんに気づいてもらうためにボードも作りました。広島と福岡で3公演観ます。

初めてのコンサートなので、すごく楽しみです。CDも全部持っているので、毎日聞いています。こんなにはまったのは初めてで一生ついていきます(笑)。(湊)

LONGWAY TO GO!

私は、今、一生懸命、ここまで生きてきましたが、まだまだ先は長そうです。

でも、本当に、キツイのは、今からだと思います。

両親は、年老いていつか居なくなる。

ひとり自立する日は必ず来ます。

でも、大丈夫。将来、天国の両親に恥ずかしくないように、どんなに、辛くても、前を向いて歩いていきます。

明るさだけは、忘れずにね。

「私の前に道はない。私の後に道は、出来るのです。」(帆足明雄)

全国のインフラの老朽化が社会問題となってきましたが、私の身の回りのものも老朽化が目立ってきました。パソコンにスマホ、CDプレーヤーやスピーカー、そして車など日々の生活で使っているものなので、早く買い替えなければと思いつつ、なかなか着手できないでいます。これまで慣れ親しんできたものを一新するのは、予算の問題はともかく、設定や操作を覚えなおす必要もあり、中々難しいものです。

そんな中、プレステ5を買いました。これは抽選で購入権が当たったため、ほとんど勢いで買った感じです。それが良かったのかどうかは別として、今しかないというきっかけがあれば決心がつくというものです。そういえばマイナンバーカードも、ポイントがもらえる期間が終わるといので作りましたし… どんどん物が上がり続けている昨今なので、さっさと古くなったものは、買い替えしたほうが賢いような気がします。(IT関係)

この月は、梅雨入りの時期です。

この時期気を付けます。

朝焼けに夕焼け、ガザガザに会った。

まっこうクジラ、心の友よ。

(林 久仁子)



訃報

じねん舎立ち上げの功労者であった倉重医師が、6月3日に逝去されました。享年71才でした。ご冥福をお祈りいたします。

追悼文

(宗吉信)

倉重真明くんが亡くなった。とても残念だ。

学生時代に出会い飄々として飾らない人柄が好きだった。一緒に山に登ったし、よく酒も飲んだ。昔はあまり酒に強くなくて、直ぐに真っ赤になっていた。ビアガーデンでビール瓶をマイクに見立てて天地真理を歌っていた姿を今も思い出す。

じねん舎やアヴァンセのことをいつも熱く話していた。若い頃から変わらない情熱と正義感だった。

合掌

活動報告



記念撮影



みんなで農事センターに行きました。

梅見会



つくるぞ



食事会



いただきます。



プランター
花壇



完成



スペース Labo に
行きました。



花見会



紫川河畔
公園にて